

海外安全対策情報
(平成 28 年度第 3 四半期)

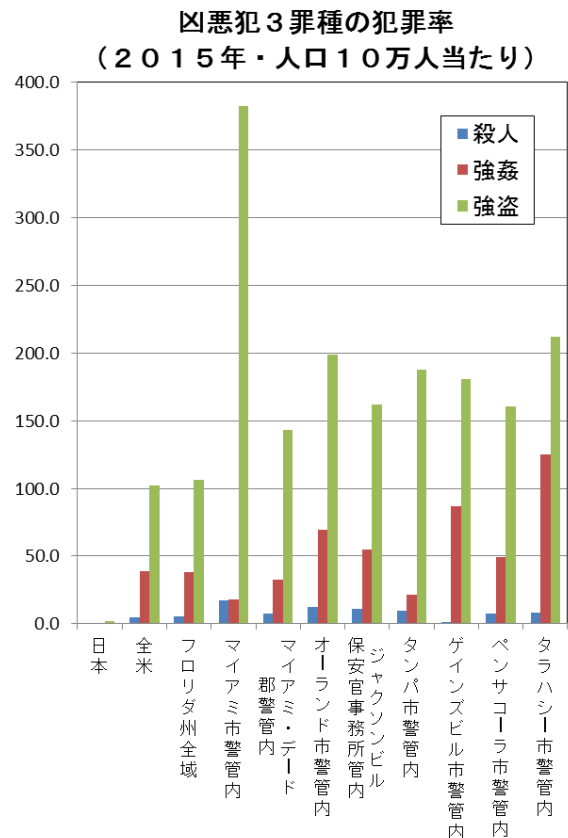
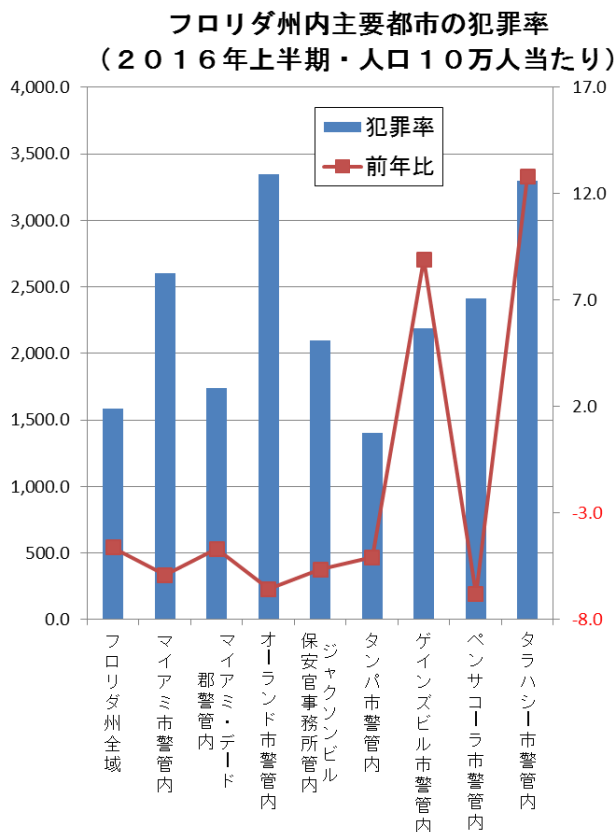
1. 社会・治安情勢

(1) 報道等によれば、フロリダ州内では、都市部を中心に銃器を使用した殺人、強盗等の凶悪犯罪が恒常的に発生している上、強姦、暴行、窃盗といった各種犯罪も頻発しています。犯罪多発地域を避けて行動することはもちろん、比較的安全とされる地域においても、深夜の外出を控えたり、人通りの少ない場所を避けたりするなど、犯罪に巻き込まれないための自衛策を心掛けてください。また、外出時のみならず在宅中も常時施錠する、車内には貴重品を残すことなく確実に施錠する、などといった基礎的な防犯対策を怠らないよう平素から注意することも重要です。

(2) 一般的に対日感情は良好です。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

フロリダ州法執行局等の統計資料によれば、2016 年上半期の同州の犯罪率は、前年同期よりも改善傾向にあります。多くの日本人が居住・訪問する主要都市の多くは、高い犯罪率となっています。凶悪犯 3 罪種（殺人・強姦・強盗）の犯罪率については、我が国を著しく上回っているのはもちろん、同州全域や全米との比較でも高い水準にあると言わざるを得ない状況となっています。



フロリダ州及び同州内主要都市における犯罪発生状況（2016年上半期）

地域	年/前年比	人口	犯罪件数	犯罪率 (10万人 当たり)	殺人	強姦	強盗	加重暴行	住居侵入	窃盗	車両盗
フロリダ州全域	2016年上半期	19,815,183	314,647	1,587.9	561	3,769	9,685	30,957	48,357	201,087	20,231
	前年比	1.6	-3.4	-4.9	15.2	1.9	-5.6	-3.3	-10.3	-2.4	4.4
	2015年上半期	19,507,369	325,702	1,669.6	487	3,700	10,258	31,997	53,899	205,978	19,383
マイアミ 市警管内	2016年上半期	439,509	11,426	2,599.7	27	44	671	1,211	1,282	7,305	886
	前年比	2.7	-3.4	-5.9	-35.7	33.3	-19.1	-8.4	-18.2	6.1	-23.0
	2015年上半期	428,107	11,830	2,763.3	42	33	829	1,322	1,568	6,885	1,151
マイアミ・デード 郡警管内	2016年上半期	1,160,457	20,194	1,740.2	37	213	677	1,857	2,131	13,695	1,584
	前年比	1.2	-3.5	-4.7	-2.6	12.7	-19.2	-6.9	-20.2	0.5	1.0
	2015年上半期	1,146,579	20,931	1,825.5	38	189	838	1,994	2,671	13,632	1,569
オーランド 市警管内	2016年上半期	262,949	8,794	3,344.4	65	85	240	804	1,421	5,609	570
	前年比	2.9	-3.9	-6.6	622.2	-9.6	-11.1	-11.1	-10.5	-2.5	6.9
	2015年上半期	255,636	9,151	3,579.7	9	94	270	904	1,588	5,753	533
ジャクソンビル 保安官事務所管内	2016年上半期	862,637	18,098	2,098.0	52	251	703	1,752	2,758	11,160	1,422
	前年比	1.7	-4.0	-5.7	13.0	11.1	13.4	-6.4	-13.1	-5.7	31.9
	2015年上半期	847,832	18,854	2,223.8	46	226	620	1,872	3,172	11,840	1,078
タンパ 市警管内	2016年上半期	358,279	5,015	1,399.7	12	43	258	671	761	2,917	353
	前年比	1.6	-3.6	-5.1	-42.9	34.4	-12.8	-13.8	-18.5	1.9	27.0
	2015年上半期	352,741	5,202	1,474.7	21	32	296	778	934	2,863	278
ゲインズビル 市警管内	2016年上半期	127,955	2,799	2,187.5	3	57	83	277	307	1,930	142
	前年比	1.8	10.9	8.9	50.0	32.6	-8.8	-1.1	15.8	12.3	14.5
	2015年上半期	125,661	2,524	2,008.6	2	43	91	280	265	1,719	124
ベンサコーラ 市警管内	2016年上半期	53,058	1,282	2,416.2	2	13	37	134	181	871	44
	前年比	0.6	-6.3	-6.8	-33.3	-7.1	-2.6	3.1	-10.4	-6.1	-17.0
	2015年上半期	52,758	1,368	2,593.0	3	14	38	130	202	928	53
タラハシー 市警管内	2016年上半期	187,996	6,203	3,299.5	4	104	200	549	1,036	3,777	533
	前年比	1.2	14.2	12.8	-50.0	-12.6	20.5	-21.2	7.9	21.4	42.9
	2015年上半期	185,784	5,433	2,924.4	8	119	166	697	960	3,110	373

※以上出典：（フロリダ州内）Florida Department of Law Enforcement, “2016/2015 Semi-Annual Uniform Crime Reports, County and Municipal Offense Data”（ただし、人口にあつては、同“2015 Annual Uniform Crime Reports, County and Municipal Offense Data”）
 （全米）Federal Bureau of Investigation, Uniform Crime Reporting, “Crime in the United States 2015”
 （日本）国家公安委員会・警察庁, 平成28年警察白書, “統計資料2-2及び2-4”

3. テロ・爆弾事件発生状況

- (1) これまでのところ、フロリダ州におけるテロに係る具体的な脅威情報には接していませんが、昨年6月のオーランド市内における銃乱射事件に関する治安当局の発表及び報道等によれば、犯人については、犯行中に国外のテロ組織に言及するなど、国外のテロ組織によって感化され、過激化した兆候が強く認められる模様です。また、この事件に関連して、昨年9月、犯人が立ち寄っていたフォート・ピアスに所在するモスクに対する放火事件が発生しました。
- (2) また、昨年中の米国内においては、9月にニューヨーク州及びニュージャージー州において爆弾テロ事件、ミネソタ州において刺傷テロ事件がそれぞれ発生し、11月にオハイオ州において乗用車と刃物を用いた襲撃事件が発生しました。これらの犯人は、イスラム過激主義に関係しているものとみられています。
- (3) その他、最近では欧米諸国を含む世界の様々な地域でテロ事件が発生しており、今後、日本人・日本権益が標的となる事案が発生する可能性も否定できません。また、イスラム過激派やこれらの主張に影響を受けた一匹狼（ローンウルフ）によって、繁華街、観光地、公共交通機関といった、不特定多数の人々が集まり警備態勢の脆弱なソフト・ターゲットを狙ったテロも世界各地で増加しており、日本人がこれらに巻き込まれることが懸念されます。
- (4) つきましては、こうした厳しいテロ情勢に十分留意するとともに、テロ事件や銃乱射事件といった不測の事態に巻き込まれることのないよう、平素から外務省が発出する海外安全情報、米国国土安全保障省テロ関連情報サイト、報道等に注意を払いつつ、最新の治安関連情報の入手に努めるとともに、日頃から危機管理意識を持って自らの安全確保に努めてください。また、テロの標的となりやすい場所（イベント会場、公共交通機関、観光施設等不特定多数が集まる場所、軍・警察・政府関係施設等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れるなど、安全確保に十分注意してください。また、各種抗議デモや集会等、不特定多数の人々が参集している状況等を見かけた場合は、決し

て興味本位で近付くことなく、その場から速やかに離れるようにしてください。

4. 誘拐・脅迫事件発生情報

日本人の被害に係る情報には接していません。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

特異動向に係る情報には接していません。